

特別展 大成建設コレクション
もうひとりのル・コルビュジエ
～絵画をめぐる～
Another Aspect of Le Corbusier – Exploring his Paintings -

2024年6月25日（火）～8月12日（月、祝）
公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館 / 大成建設株式会社



ル・コルビュジエ「チャンディガール」(1951)

【概要】

「私の探求や知的生産の根底の秘密は、絶え間ない絵画実践のなかにあるのです。」※
フランスを拠点に活動した建築家ル・コルビュジエ（1887～1965）は、7か国にある17資産がユネスコの世界文化遺産に登録されるなど、20世紀を代表する重要な建築家として高く評価されていますが、同時に数多くの美術作品を残したアーティストとしても知られています。

本展では、世界有数の所蔵作品をもつ大成建設ル・コルビュジエ・コレクションの中から約130点の作品を展示することで、ル・コルビュジエの美術作家としての側面をご紹介します。本コレクションの素描やパピエ・コレ作品がまとめて公開されるのはおよそ30年ぶりです。本展をご覧いただくことで、建築を含めたル・コルビュジエのすべての創作活動の根底にあった、彼の絵画への情熱に気づいていただけることと思います。

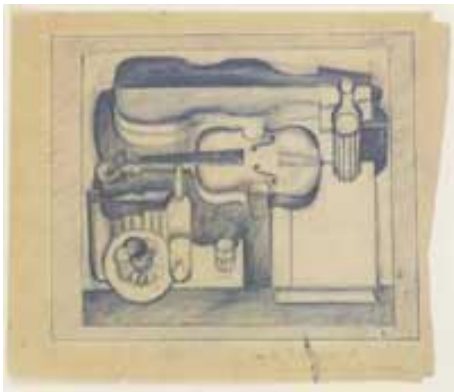
※（“Le Corbusier Lui Même”（『ル・コルビュジエ みずから語る生涯』P250）

【展示作品】

油彩、素描、パピエ・コレ、版画、タピスリー、彫刻など 約130点

■ プュリスムから

1917年に故郷を出てパリに定住したル・コルビュジエは、画家アメデ・オザンファンとともに「ピュリスム」を提唱しました。これはキュビズムを批判的に継承したもので、機械時代に即し、大量生産の工業製品を普遍的なオブジェとしてそこに美を見出し、対象を幾何学的な形態にまで単純化し、黄金比や正方形を基準にした厳格な構図のなかで描くものでした。その後、1925年にオザンファンと別れてからは、詩的な感情を喚起する静物とよぶ骨や石などを描き、シュルレアリスム的な作品も描くようになりました。



ル・コルビュジエ「ヴァイオリンとヴァイオリンケース」(1920)



ル・コルビュジエ「レア」(1931)

■ 女性たち

1920年代末以降、ル・コルビュジエの絵画の中心的テーマとなったのは女性です。まず、旅先で目にした働く女性たちの姿。そして、偶然船に乗り合わせた黒人レビューの大スターのジョセフィン・ベイカーや女性アスリートやサーカスのパフォーマーなどの逞しい姿が描かれました。ル・コルビュジエが描く女性たちは、その姿態のかたちを描くことのみ力が注がれ、モデルの女性たちの内面を描くことには関心がありませんでした。女性たちの姿はしだいにデフォルメがすすみ、最終的には人体とは思えないほど変形していきます。



ル・コルビュジエ「サーカス、女性と馬」(1929)



ル・コルビュジエ「長椅子」(1934)

■ 象徴的モチーフ

第二次世界大戦中、ル・コルビュジエは一時的に事務所を閉めて疎開し、絵画の制作に励みました。身の回りの風景を描くだけでなく、自分が昔描いた作品をもとに新しいアイデアを生み出していました。戦後になると、こうした象徴的なモチーフを繰り返し描くようになります。それらは牡牛、翼のある一角獣、開かれた手、アイコンなどで、いずれも物語性を秘めたものでした。牡牛はその力強さから旧弊を打ち破る力の象徴としてよく描かれ、ル・コルビュジエは自分を投影していたのかもしれない。翼のある一角獣はペガサスとも従来の一角獣とも違って女性の姿をし、ル・コルビュジエにとってのミューズ的な存在だったようです。開かれた手はあらゆるものを受け取って、与える調和のシンボルとして彼が都市計画を手掛けたチャンディガールにモニュメントが建てられました。アイコンは祈りのポーズをとった女性の姿で妻イヴォンヌを彷彿させます。



ル・コルビュジエ「女のいるコンポジション」(1955)



ル・コルビュジエ「テーブルにつく人物」(1939～52)

■ グラフィックな表現

ル・コルビュジエの第二次世界大戦後の絵画表現は、油彩に加えて版画やパピエ・コレに広がっていきます。同時に描く内容も象徴的なモチーフが中心となり、写実的に描くことはなくなることで、より記号的で平面的な表現になっていきました。画面は大きく、単純化された描線と大きな色面で表現され、それぞれが自律することで、線と色が自在に展開している画面となり、やがて、色紙を切ったような大胆な色面だけで構成されるように変化してきました。



ル・コルビュジエ『直角の詩』(詩画集、1955)

【イベント】

■ 講演会、鼎談

いずれも聴講無料（事前申込制、先着順、全席自由）

お電話、もしくは Google フォームよりお申込みください。Google フォームの2次元バーコードは本展覧会チラシおよび当館ウェブサイトにも掲載しています。

大倉集古館 電話 03-5575-5711（月～金 10:00～17:00）

1. 「ル・コルビュジエの眼」

日時：6月30日（日）14:00～15:30

講師：古谷誠章氏（建築家、早稲田大学教授）、藤井由理氏（建築家、早稲田大学招聘研究員）

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス 57号館 201号室（420名）



2. 「ル・コルビュジエの絵画が語りかけること」

日時：7月6日（土）13:00～14:30

講師：青木淳氏（建築家、京都市京セラ美術館館長）

加藤道夫氏（東京大学名誉教授） 中村研一氏（建築家、中部大学教授） 五十音順

会場：国際文化会館講堂（120名）



3. 「ル・コルビュジエの建築と絵画を語る」

日時：7月21日（日）14:00～15:30

講師：隈研吾氏（建築家、東京大学特別教授、東京大学名誉教授、早稲田大学特命教授）

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス 57号館 201号室（420名）



■ ギャラリートーク

日時：7月10日（水）、17日（水）、24日（水）、31日（水） 各 15:00 から

担当：林美佐（大成建設ギャラリー・タイセイ主任学芸員、本展監修者）

会場：大倉集古館 展示室 1階展示室 EV前にお集まりください

お申込み：不要（ただし入場には入館券が必要です）

【展覧会名】 特別展 大成建設コレクション もうひとりのル・コルビュジエ ～絵画をめぐる～

【会期】 2024年6月25日(火)～8月12日(月・祝)

【開館時間】 10:00～17:00(入館は16:30まで) 金曜日は19:00まで開館(入場は18:30まで)

【休館日】 毎週月曜日(休日の場合は翌火曜日)

【入館料】 一般1,500円、大学生・高校生1,000円、中学生以下無料

※同会期中のピーターは500円引き

※20名様以上の団体は500円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者1名は無料

※お着物(和装)でご来館の方は300円引き(割引併用不可)

※ミュージアムパスポート5,500円

※オークラ東京とのセット鑑賞券(ランチセット6,000円、茶菓セット3,100円)

【主催】 公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館、大成建設株式会社

【協力】 株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、早稲田大学建築学科

【会場】 公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3(オークラ東京前)

TEL:03-5575-5711

<https://www.shukokan.org/>

【アクセス】

- ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅中央改札口(泉ガーデン方面)より5分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅4b出口より7分
- ・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅13番出口より10分
- ・東京メトロ銀座線 虎ノ門駅3番出口より10分
- ・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅A2出口より8分



【展覧会に関する問い合わせ】

(広報担当) 高野明子 (takano.a■shukokan.org) 四宮美帆子 (shinomi■shukokan.org)

(展覧会担当) 平塚泰三 (hiratsuka■shukokan.org) 林 美佐 (misa-h■pub.taisei.co.jp)

(■を@に変えてください)

電話: 03-5575-5711、FAX: 03-5575-5712

特別展 大成建設コレクション
もうひとりのル・コルビュジエ ～絵画をめぐって～
報道内覧会のご案内

2024年6月24日(月)

(受付) 13:30～ (作品解説等) 13:45～ (終了) 14:40

担当学芸員より展覧会のご説明や作品解説を行い、ご質問にお答えいたします。

展示室内をご撮影いただけます。

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAX かメールにてご返信ください

FAX 03-5575-5712

E-mail takano.a@shukokan.org (●を@に変えてください)

大倉集古館 高野明子 宛

■ご担当者様情報

貴社名	
ご担当職・ご氏名	
電話番号・FAX 番号	
メールアドレス	

■参加者(上記以外)

ご所属・役職名	ご氏名

【会場】大倉集古館 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-10-3 (オークラ東京正面玄関前)

- ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅改札口(泉ガーデン方面)より5分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅 4b 出口より7分
- ・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅 13 番出口より10分
- ・東京メトロ銀座線 虎ノ門駅 3 番出口より10分
- ・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A2 出口より8分

※やむを得ない事情で日時や内容の変更・中止をする場合がございます。

ご来館前に当館 HP をご確認ください。

特別展 大成建設コレクション
もうひとりのル・コルビュジエ ～絵画をめぐって～
広報用画像申請書

宛先：大倉集古館 学芸部 高野明子 宛
FAX：03-5575-5712
E-mail：takano.a●shukokan.org（●を@に変えてください）

■ 図版使用に際しての注意

- ・本展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用ください。
- ・ご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。
- ・使用後のデータは破棄してください。・ウェブ上で使用する場合は、コピーガードを施してください。
- ・画像への文字のせ、加工などはご遠慮ください。
- ・図版使用の際は必ず作品キャプションを載せてください。
- ・画像使用の掲載誌や放送 DVD は 1 部ご送付ください。

希望	No	作品
	1	ル・コルビュジエ「牡牛 XVIII」(油彩、1959 年) 大成建設所蔵
	2	ル・コルビュジエ「女のいるコンポジション」(パピエ・コレ、1952 年) 大成建設所蔵
	3	ル・コルビュジエ「直角の詩 表紙」(リトグラフ、1955 年) 大成建設所蔵
	4	ル・コルビュジエ「奇妙な鳥と牡牛」(タピスリー、1957 年) 大成建設所蔵
	5	ル・コルビュジエ「コンポジション」(素描、1951 年) 大成建設所蔵
	6	ル・コルビュジエ「チャンディガール」(素描、1951 年) 大成建設所蔵
	7	ル・コルビュジエ「行列」(リトグラフ、1962 年) 大成建設所蔵

ご住所		
貴社名		
ご担当者名		
TEL/FAX	TEL:	FAX:
E-mail		
媒体名		
発行放送予定日		



No.1



No.2



No.3



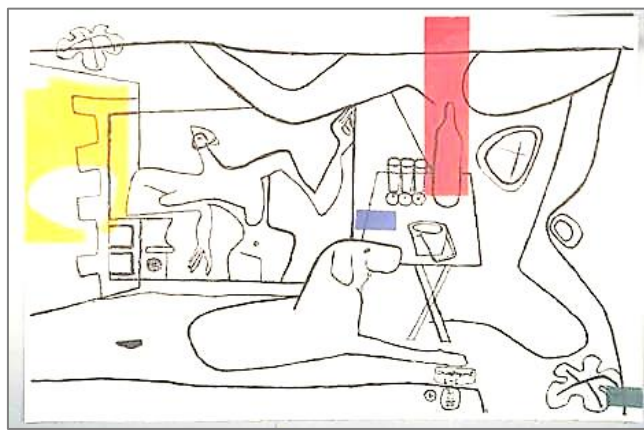
No.4



No.5



No.6



No.7